

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 黙示録 21:3-4 …… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 …… 9番 聖なる、聖なる、聖なるかな
- *交読文 …… 41番
- *使徒信条 …… 会衆一同
- *頌栄 …… 175番 みたまよわれ歌う時
- 礼拝のための祈り …… 成田エクレシア:朴執事 天声:小林伝道師
- 賛美 …… 210番 主イエスに罪をゆるされて
- メッセージ …… 門をくぐって罪の悲惨から新しいトープの世界へ行こう(哀歌 3:22-33)
- 御言葉を適用する祈り …… 会衆一同
- 賛美 …… 217番 なしたまえみ旨を
- 幸せと成功の宣言文 …… 会衆一同
- 献金感謝の祈り …… パスター
- 報告 …… 今週 IMBS が日本に来て、働き人はその奉仕に出かけます。彼らが日本で良い滞在が出来るよう祝福をお祈りください。
- *主の祈り …… 会衆一同
- *祝祷 …… パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(第二テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

どうか、____の主イエス・キリストの神、栄光の父が、知恵と啓示との霊を____に賜わって神を認めさせ、____の心の目を明らかにして下さる様に、そして、____が神に召されていただいている望みがどんなものであるか、聖徒たちがつぐべき神の国がいかに栄光に富んだものであるか、また、神の力強い活動によって働く力が、信じる____にとつていかに絶大なものであるかを、____が知るに至る様に、と祈っている。神はその力をキリストのうちに働かせて、彼を死人の中からよみがえらせ、天上においてご自分の右に座せしめ、彼を、すべての支配、権威、権力、権勢の上におき、また、この世ばかりでなくきたるべき世においても唱えられる、あらゆる名の上におかれたのである。そして、万物をキリストの足の下に従わせ、彼を万物の上にかしらとして教会に与えられた。この教会はキリストのからだであって、すべてのものを、すべてのもののうちに満たしているかたが、満ちみちているものに、ほかならない。(エペソ 1:17-23)

哀歌は、エルサレムがバビロンに滅ぼされた時、間近でそれを目撃していたエレミヤが記した歌で、陥落後のエルサレムの悲惨な状況が記されている。エルサレムはなぜ悲惨な状況に陥ってしまったか。彼らは行く末を心に留めもせず、主の御言葉を無視し続け、罪に罪を重ねたからだ、と書いてある(1:8,9)。人は御言葉を無視し続けるなら、確かに、悲惨な状況になってしまう。しかし以前がどうであれ、罪を悲しんで主の御言葉に立ち返り、主と共に歩むなら、主は豊かな恵みをほどこして下さるという希望も、教えている。

エレミヤはこの歌を、アクロスティックという形式で残した。アクロスティックとは、各行の最初の文字を並べると、ある意味が浮かび上がってくる技法で、聖書はアルファベット順のアクロスティックで記されている箇所が幾つかある(詩篇 119 篇や箴言 31:10 以降など)。なぜこの形式で記されているのか。それは、覚えやすいようにするため、暗唱して忘れないようにするためである。哀歌は 1-4 章がアクロスティックであるが、これは、哀歌の悲惨な出来事と、そうなってしまった理由を決して忘れるな、という強い意図があるからだ。

哀歌 3 章は、1-21 節までは、罪を犯し続けた故の災いと、悲惨さと、打ち叩かれた痛み、嘆きが連なっているが、22 節以降は、打ち叩かれっぱなしの罪の人生からの転換が示唆されている。アクロスティックの法則から見ると、22-24 節は、ヘブライ語 8 番目の文字ヘット(ח)から始まるが、ヘットは「ザイン(ז 剣を意味する)」と、「バブ(ב 釘、男性の人間を意味する)」が、アーチ状の「くびき」で繋がった語である。すなわち、剣なるお方キリストと、人とがくびきで繋がった字である。ヘットは、漢字の「門」に似た字で、実際「門」を意味しており、また、この字の数値である 8 は、新しいスタートを意味する。世界は 7 の周期で回っており、8 は、新しいサイクル、新しい次元に突入する意味がある。ヘブライ思考では、闇が最初でも、後に光なのだ。新しいサイクル、新しい次元に入るための門は、御言葉なるキリストであり、このお方とくびきを共にして歩む人は、罪とその打ち叩きのサイクルにあった自分をどんどん離れ、キリストにある新創造へと入って行く。

22 節の最初の語はヘセド(恵み)、23 節はハダシ(新しい)、24 節はヘレク(相続地、相続財産)である。主の恵みは、朝ごとに新しく、あなたの真実は力強い、と宣言されている。たとえ罪を犯しても、罪を悲しんでイエス様に来る人は、光の人であり、たとえ昨日が闇で終わっても、イエス様と共に歩いていく人は日々、新しく創られ、光へと近づいていく。そのためには「意志」が必要である。24 節では、「主こそわたしの相続地です」と宣言しているが、私達が新創造になって行くにも、主こそわたしの相続である、という意志表明が必要であり、そのような志のある人こそ、主はトープ(パーフェクト、ビューティフル、グッド)へと導いて下さる。事実 25-27 節はヘブライ語 9 番目の文字テット(ט)で始まるが、これら 3 節は全て「トープ」で始まる。主は慈しみ深く(トープ)、主の救いを黙って待つのは良い(トープ)と書いてあるように、結局、人に出来るトープとは、主の救いを黙って待つ事、ただそれだけである。人が若い時にくびきを負うのは良い(トープ)と書いてある。ヘブライ語「ヘット」も、イエス様と人とがくびきを共にして門をくぐっていく文字だったが、人がトープの新次元に入るには、唯一、イエス様と「くびき」でつながり、主と共に歩む事によってである。

「口をちりにつけよ。もしや希望があるかもしれない。」(29 節) 人の組成は、ちりである。主に對し、人に對して高慢になっていた口を、ちりにつけ、じっくり味わうのだ。自分はちりにすぎず、あの人もちりにすぎなかった事を。人を傷つけ、神を傷つけてきた事の悲しさを味わい、心底悔い改めるような人を、主はいつまでも捨て置かれはしない(31 節)。たとえ最初は闇でも、御言葉なるイエス様とくびきを共にして行くなら、新しい次元、新しい創造へ入っていく。主は、混沌の闇から光を創造し、トープを創造されるお方である。

私達は今まで、自分がちりである故に、ちりを味わってきたかもしれない。人からそしりを受けてきたかもしれない。しかしたとえ、昨日が闇だったとしても、また失敗だったとしても、日々イエス様とくびきをともにして行くなら、今までと全く違った新創造、新次元へと、イエス様と共に入って行ける。イエス様とくびきを共にし、今までのちりを味わってきた状態から抜け出し、主によって引き上げられ、ますます光へと、ますます新しい新創造へと導かれていく私達でありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

第18巻28号

2023年7月9日

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

主日礼拝(日曜)

日本語礼拝 礼拝 11:30
English Service 14:30

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:00～

水曜礼拝

1部 13:00～
2部 19:00～

金曜祈祷会

19:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅

6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分

JR・関内駅より徒歩10分

京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージをメールで
お届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

〒231-0058

パスター：林和也 川合ゆきえ

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voice.of.christ.yokohama/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



YouTube